

平成30年8月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	H30年8月 数量 (トン)	H30年8月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	人 参	北海道産中心の入荷でした。6月～7月の長雨や7月中旬以降の干ばつなどの天候不順の影響による作柄不良のため、小振り傾向の入荷で推移しました。	724	143	98%	198%
2		キャベツ	群馬(嬭恋)県産を中心に北海道産・長野県産・山梨県産の入荷でした。中旬以降に出荷が増加したため、入荷はやや増加しました。	817	101	118%	115%
3		トマト	高温の影響により玉付きが悪く、全国的にも数量が少なく、入荷量はやや減少しました。	546	444	92%	135%
4		なす	群馬県産、山梨県産、栃木県産中心の入荷でした。7月の高温による作柄不良により、入荷量はやや減少しました。	121	308	86%	111%
5		たまねぎ	北海道産、大阪府産、兵庫県産、佐賀県産の中心の入荷でした。前半の大阪府産、兵庫県産、佐賀県産の出荷量減少の影響により、入荷量はやや減少しました。	566	107	89%	125%
6	果 実	西 瓜	山形県産、長野県産中心の入荷でした。高温の影響により、入荷量は大幅に増加しました。	573	152	174%	99%
7		デラ	前進出荷と新規産地(山形県JAさがえ)が増えたことにより、入荷量は大幅に増加しました。	26	658	136%	89%
8		幸 水	関東産中心に5日～7日の前進出荷と東北産も前進出荷となったため、入荷量はやや増加しました。	374	315	112%	87%